

## 放射線群書類従（第2回）

### 放射線安全取扱部会広報専門委員会

#### 1. はじめに

福島第一原子力発電所事故以来、放射線に関する様々な書籍が出版されている。本屋へ行く目立つ場所に、手に取りたくなるタイトルを冠された書籍が並ぶ。その中には決して専門的ではないが、お母さん目線のものであったり、難しいことをあえて封印したりして分かりやすさを重視したものもあり、読者層の広さが窺える。

さて、放射線取扱主任者は、被災地域で講演を求められたり、除染活動に協力したりと専門家として能力を発揮する一方、インフォーマルな場面でも放射線のよろず相談を受けることがあるため、知識を上手く伝えるための工夫に腐心されていることと思う。

本稿は、そのような勉強熱心な放射線取扱主任者のために、多様な放射線に関する書籍を分類することを企画し、今回が第2回目連載である。目的は情報提供なので、気になった書籍はご自分の目で確かめていただきたい。

#### 2. 評価方法及び寸評

主任者がどのような目的で書籍を探している

かの視点に立って、以下の5項目について評価する。

- ① 専門家向け：放射線取扱主任者等の専門知識を持った方々に向いている内容
- ② 一般向け：一般の方々が読んでも理解可能な内容
- ③ 科学的：内容に科学的な裏付けがある
- ④ 放射線影響：放射線の人体影響についての話題がある
- ⑤ 教育訓練：放射線業務従事者の教育訓練資料として使用可能な内容

評価は4段階で示した。なお、評価自体は広報専門委員の主観である。

- ◎：非常に多い、とても向いている
- ：多い、向いている
- △：ある、多少触れている
- ：ない、評価対象外

企画の趣旨を踏まえて忌憚なく意見を述べさせていただくことをご容赦いただきたい。また、書籍の内容全体が分かるように、2～3行の寸評を記載する。こちらも評価と同様に専門委員の主観である。

## 主任者 コーナー

「環境リスク心理学」 著者：中谷内一也 ナカニシヤ出版 2003年3月1日初版

A5判・184頁・2,100円(税込)

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	◎	◎	◎	△	○

寸評：放射線分野でも著名になった社会心理学者による“リスク認知学”の入門書的名著。「これからは‘科学’を振りかざして特定のリスク概念を押し付け、人々を調伏させようとするリスクマネジメントがうまくいくとは考えられない」など目からウロコの表現が連発する。(N.M.)

「やっかいな放射線と向き合って暮らしていくための基礎知識」 著者：田崎晴明 朝日出版 2012年10月11日初版

B5判・148頁・1,050円(税込)

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	○	◎	◎	◎	◎

寸評：安全か危険かではなく、自らの考えを述べながらも冷静に今分かっていること分かっていないことを丁寧に解説している。一般の方々に、原発事故の影響と放射線影響、リスクをどのように説明すれば良いかが分かる好著。科学的でありながらも、“気にする自由”と“気にしない自由”についてお互いに尊重し合うことが重要という言葉には感銘を受ける。自らの主張を押し付けるのではなく、寄り添う姿勢というものを考えさせられる主任者必読の書。(Y.Y.)

「放射線測定のうそ」 著者：丸子かおり マイナビ新書 2012年7月31日初版

新書判・240頁・872円(税込)

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	△	◎	○	△	○

寸評：一時期はやっていた(今でもかもしれない)一般の方々があちらこちらを放射線測定することについて、その数値の読み方、考え方、間違った測定方法などに特化して解説している特異な本。怪しい測定値がはびこる昨今、この程度は理解しておいて測定して欲しいところである。所々、明らかに間違った説明もされているが、本の趣旨とは異なるので大目にみたい。(Y.Y.)

「放射線のひみつ」 著者：中川恵一 朝日出版社 2011年6月10日初版

四六判・156頁・945円（税込）

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	△	○	○	◎	△

寸評：マスコミで報じられている放射線とその影響について一般の人に分かりやすく説明することを念頭に書かれたもの。分かりやすくするための配慮が随所に見受けられるが、そのための比喩が適切でない部分もあり、高校の教科書・参考書を読んだ若い人にとって混乱を招きかねない表現も。(M.M.)

「見えない恐怖 ～放射線内部被曝～」 著者：松井英介 旬報社 2011年6月25日初版

B6判・172頁・1,470円（税込）

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	○	○	△	◎	△

寸評：広島、長崎の被爆者、ビキニ水爆実験の被災者、トロトラストの被投与者など、幅広く内部被ばくを紹介している点は高く評価できるが、肝心の内部被ばくについては定量的な考察が欠けている印象がある。(Y.U.)

「放射能と生きる」 著者：武田邦彦 幻冬舎 2011年6月29日初版

新書判・280頁・840円（税込）

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	△	○	○	○	△

寸評：テレビでよく見かける著者が東電原発事故後にブログに記した文章等をまとめた1冊。放射線の人体への影響等が、一般の方々にも分かってもらえるように噛み砕いて説明されている。しかし、自己流の解釈が過ぎる部分が時折見られるため、読者に曲解されてしまう可能性が懸念される。(A.S.)

## 主任者 コーナー

「放射線規制値のウソ」 著者：長山淳哉 緑風出版 2011年10月19日初版

四六判・180頁・1,785円（税込）

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	△	△	○	◎	△

寸評：広島・長崎の疫学調査はバイアスがかかっており，それを補正するために現行の規制値を十分の一にすべきだという主張であるが，保守的に見積もられたリスク因子を算術的に乗算していく論理展開にやや違和感を覚えた。リスク係数はそれぞれが独立しており，1つのリスク要因の状況が変化すれば，絡み合うその他のリスク係数の値は変化するのではないだろうか。(A.K.)

「世界一わかりやすい放射能の本当の話 子どもを守る編」 監修：伊藤隼也 宝島社 2011年9月2日初版

A5判・95頁・500円（税込）

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	△	○	△	○	△

寸評：放射能の基礎については分かりやすく記述されている。子供を守るという観点は理解できるが，センセーショナルな見出しが多く，煽動的な嫌いがある。(S.H.)

「リスクにあなたは騙される—「恐怖」を操る論理」 著者：ダン・ガードナー 早川書房 2009年5月22日初版

四六判・478頁・1,995円（税込）

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	◎	△	○	—	△

寸評：毎日のように報道されるいろいろなリスク。本当にそのリスクは恐れるほどのものなのか？ 史上最も安全で健康な私たちがリスクにこれほどまでに影響され脅えている背景には，3つの要素が影響している。脳とメディア，恐怖を掻き立てることに利害関係のある多くの個人や組織である。恐怖の増幅の回路を断ち切ることはできないかもしれないが，音量を下げるべく意識することはできる。リスクと冷静につきあうのに一読の価値あり。(H.Y.)

「基礎から学ぶ緊急被曝ガイド」 著者：岡崎龍史 医療科学社 2012年1月27日初版

A5判・128頁・1,890円（税込）

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	△	◎	○	◎	◎

寸評：放射線を正しく理解するために、原発事故後の現状も含め、図説入りで分かりやすく解説してある。主任者にとって、放射線の基礎から影響まで全体の概要を理解するには、手元にあるとよい1冊ではないか。(K.O.)

「低量放射線は怖くない」 著者：中村仁信 遊タイム出版 2011年6月25日初版

四六判・125頁・1,260円（税込）

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	○	◎	○	○	○

寸評：低線量の放射線影響について分かりやすく説明した好著。少し議論を単純化し過ぎているところも見られるが、一般人向けという意味では許容され得るであろう。(Y.I.)

「原子力災害に学ぶ放射線の健康影響とその対策」 著者：長瀧重信 丸善出版 2012年1月20日初版

A5判・145頁・2,625円（税込）

対象	① 専門家向け	② 一般向け	③ 科学的	④ 放射線影響	⑤ 教育訓練
評価	○	○	◎	◎	○

寸評：原爆から福島まで、原子力災害事例の紹介を通じて、これまでに得られた健康影響データと、国際的に合意を得るまでのサイエンス、そしてそれが人類の智慧としてのポリシーにつながるプロセスが淡々と語られた後の明確な主張が胸に響く。「社会に対しては、国際的な合意を提言すべきで、国際的な提言に比べて科学的に比較にならないようなレベルの内容の個人の業績を主張するようなことを慎むのが真の科学者の責任である」。(N.M.)

〔書評者一覧（50音順）〕

池本祐志, 上養義朋, 小野孝二, 川辺睦, 鈴木朗史, 桧垣正吾, 松田尚樹, 宮本昌明, 矢鋪祐司, 吉田浩子